



自分に気付き、
未来を築く
キャリア教育

小学校におけるキャリア教育推進のために



国立教育政策研究所生徒指導研究センター 平成21年3月

自分に気付き、未来を築くキャリア教育

— 教育活動をキャリア教育の視点でとらえ直し、系統的にキャリア教育に取り組み、進路の選択・探求にかかわる基盤を形成する —

キャリア教育の
全体像

キャリア教育が目指すもの

- ▶ 一人一人のキャリア発達を支援します
- ▶ 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させます
- ▶ 将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てます
- ▶ 望ましい動労観・職業観を育てます

キャリア教育の定義

キャリア教育は「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」と定義され、端的には「児童生徒一人一人の動労観、職業観を育てる教育」とも言われています

高学年



苦手なことや初めて経験することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにする

中学年



友達のおよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割を自覚することができるようにする

低学年



自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味・関心を高めながら意欲と自信を持って活動できるようにする

小学校における キャリア教育の目標

- ▶ 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- ▶ 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- ▶ 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- ▶ 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

キーワード「キャリア」

「キャリア」の語源

「キャリア」(career)は中世ラテン語の「専攻」とし、英語で、騎馬場や競技場におけるコースやそのトラック(行進、足跡)を意味するものであった。そこから、入場料を払って観戦する足跡、経歴、履歴なども意味するようになり、このほか、特別な訓練を受ける職業や生涯の仕事、職業上の出世や成功をも表すようになった。(中略)
なお、運搬子の保ち手、伝送線の保線者などを指す「キャリア」(carrier)は、運ぶ(carry)からの派生語であり、運ぶ経歴の意味である。

(厚生労働省「キャリア形成を支援する労働政策研究会」報告書(平成14年7月)より)

「キャリア」の定義

個人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連続及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積

「キャリア」とは、一般に生涯にわたる経歴、専門的技術を要する職業についていることなどのほか、解雇、意欲付けは多様であるが、その中にも共通する概念と意味がある。それは、「キャリア」が、「個人」と「働くこと」との関係の上に成立する概念であり、個人から切り離して考えられないことである。また、「働くこと」については、職業生活以外にも家事や学校でのボランティア活動、あるいは、ボランティア活動などの多様な活動があることなどから、個人がその学校生活、職業生活、家庭生活、市民生活等のすべての生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として幅広くとらえる必要がある。

(文部科学省「小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引き」(平成18年11月)より)

▶ 014年度の「キャリア教育」とは何ですか？ 是非読んでお読み下さい！

好きなこといっぱい できることいっぱい 学校って楽しいな

低学年の
キャリア教育

—— 自分の好きなこと、得意なこと、得意なこと、得意なこと、興味と自信を持って活動できるようにする

みんなのために働く経験を通して、働くことへの
関心を高めましょう
楽しみを守って、生活したり、遊んだりできるように
しましょう

【例】 ●茶 ●田圃 ●清掃 ●給食当番 ●朝の会・帰りの会
●異年齢集団活動 ●新習・乗馬活動



活動する楽しさを体験させ、仲よく
助け合おうとする態度の基礎を培い
ましょう

【例】 ●縦割り行事 ●学級集会
●1年生を迎える会 ●目標決め
●学年末などでの振り返り



日常生活

低学年の キャリア教育

① 小学校生活に適
応する。
② 身の回りの事象へ
の関心を高める。

各教科

発達課題

③ 自分の好きなこ
とを見つけて、
のびのびと活動
する。

特別活動

道徳の時間

生活科：自分自身や身近な人々、社会に対する関心を
高めながら、自立への基礎を養いましょう

【例】 ●学校たんけん ●まちたんけん ●お手伝い大作戦
●天竺くたつぱく ●わたし
●りんごをたぐってほく ●わたしのやさいー
●ふこそあそびランドへ、(お庭園見・疫病園見との交流) など

その他の教科：グループ活動など協同的な学習活動を
通じて社会性を培いましょう / 好きなことを見付け、
一生懸命取り組む姿勢をほぐくみましょう



約束やきまりを守り、自分がやらなければ
ならないことをしっかりと行うことができる
ようにしましょう

【学習指導要領上の関連深い内容項目の例】
1-2、2-2(3)(4)、3-1)、4-1(1)(2)(3)(4) など
【育てたい力の例】
●よいと思うことや自分がやらなければならない勉
励や仕事は、しっかりと行い、業重にのびのびと
生活する
●友達と仲よくし、助け合う
●働くことよきを感じて、みんなのために働く

展開例1 ▶ 生活科(1年生)「学校たんけん」[学習指導要領上の「内容(1)』]
おらい ●学校にいる人々に関心を持ち、進んでかわりながら楽しく遊びや生活ができるようにする

活動内容	指導上の配慮事項
●学校のまわりをまわって、校舎や校庭の様子を 観察し、みんなの学校を 楽しもうとしよう	◎生活科(1年生)の学習をとおして、生活科(1年生)の 活動を楽しもうとしよう
●先生が、学校たんけんのお話をする ところ、先生のお話から、学校たんけんのお話 を聞いて、みんなの学校を 楽しもうとしよう	◎生活科(1年生)の学習をとおして、生活科(1年生)の 活動を楽しもうとしよう
●学校たんけんのお話から、みんなの学校を 楽しもうとしよう	◎生活科(1年生)の学習をとおして、生活科(1年生)の 活動を楽しもうとしよう

ポイント ●学校全体で共通理解を促し、教職員から積極的に話しかけるなどの協力を得られるようにしておきましょう
●学校一学校一学年統一学年統一地域へ活動を広げていく大きな流れを整理して実践しましょう

展開例2 ▶ 道徳の時間を要とした総合的な取組例(2年生)
おらい ●自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う 1-(2)

日常生活活動	道徳の時間	教科・特別活動など
●生活科(2年生)の授業 を通じて、自分自身や 身近な人々、社会に 関心をもち、自立の ための基礎を養おう としよう	6月 あきらめないで	●生活活動(2年生)の授業 を通じて、自分自身や 身近な人々、社会に 関心をもち、自立の ための基礎を養おう としよう
●自分自身や身近な 人々、社会に 関心をもち、自立の ための基礎を養おう としよう	10月 がんばっている わたしのこと	●生活活動(2年生)の授業 を通じて、自分自身や 身近な人々、社会に 関心をもち、自立の ための基礎を養おう としよう
●自分自身や身近な 人々、社会に 関心をもち、自立の ための基礎を養おう としよう	2月 さいごまで	●生活活動(2年生)の授業 を通じて、自分自身や 身近な人々、社会に 関心をもち、自立の ための基礎を養おう としよう

目標に向かって努力する態度の育成

ポイント ●各教科種との関連を図りながら、道徳の時間を積み重ねるようしよう
●各教科種との関連を図りながら、道徳の時間を積み重ねるようしよう

自分と 友だちと みんな いっしょに

中学年の
キャリア教育

— 家庭のペースを認め、協力して活動する中で、自分の持ち場や役割を自覚することができるようになる —



学級生活の様々な場面で、自分たちで決まりを作った力を感じよう
 【例】 ● 紙 ● 白紙 ● 準備 ● 結果発表
 ● 朝の会・帰りの会 ● 異年齢集団活動

協力し合える人間関係を築く態度を育てよう
 ● 自発的な活動への意欲の高まりなどを積極的に生かしましょう
 【例】 ● 縦割り行事 ● 席の仕舞発表会 ● 学級集会 ● 所属クラブの決定 ● 地域清掃



探究的な活動を通して、地域の人々の暮らしや生き方を学ぶ機会を設けよう
 ● 学び方やものの考え方を身に付けるとともに、協同的に取り組むことができるようにしよう



各教科

中学年の
キャリア教育
発達課題

① 友だちと協力して活動する中でかわりを深める。
 ② 自分の持ち場を發揮し、役割を自覚する。

道徳の時間

総合的な
学習の時間

各教科での学習が、日常生活や将来の生き方と関連していることに気付かせる機会を積極的に設け、学ぶ意欲につなげよう
 【例】 ● 「まちたんけん」「書の暮らし」「工場・お店の見学や調査」「消防署や警察で働く人たち」「水通(社会)」「大きくなってきたわたしの体(体育) ● 「わたしの研究レポート」(国語)



身近な人々と協力し、助け合う体験を大切にしよう
 【学習指導要領上の発達課題(内容項目)の例】 1-2(5)、2-2(3)、3-1(1)、4-1(2)(4) など
 【育てたい力の例】 ● 自分の持場に気付き、よい所を伸ばそうとする ● 友達や家族など身近な人々の立場に立つて考えることの大切さが分かる ● 集団の規則や遊びのまじりの規範を自覚し、集団での目標達成に心がかり、協同作業ができる

展開例1 ▶ 社会科(3年生)「まちたんけんをしよう」

ねらい ● 身近な地域を探索、調査し、地域の特色を探え、地域社会の一員としての自覚を持つようにする

活動内容	指導上の配慮事項
● 地域の自覚を促し合う 「まちたんけん」の目的、目標、組織や役割などの地域の年々自覚できることを紹介する 「まちたんけん」の目的、目標、組織や役割などを紹介する これからは、自分のことを大切にしながら取り組んでいこう	● 発表したこと共有化を図りましょう 互いの計画を聞いて、初めて知ったことがたくさんあって面白くなった ● 地域の人がかわる体験を大切にしよう
● 学校の屋上からながめる インタビューにより情報を収集、情報収集の仕方について話し合う ● まちを探索する 実践する計画を立てる 学校の周りを探索する グループ毎に、探索するところを確保しよりしてさらに詳しく調べよう	● 自分自身の経験や知識を大切にしよう ● まちへの理解を深め、まちのために自分たちができることを考える機会を設けていこう
● まちたんけんへの発表会をする	
● 自分たちのまちについてまとめよう	

ポイント ● 総合的な学習の時間における探究的な活動への展開や各教科、道徳との関連を持たせよう

ねらい

● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする

活動内容	指導上の配慮事項
● 20歳の自分と対話 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする	● 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする
● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする	
● 20歳の自分と対話 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする	
● 20歳の自分と対話 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする	

展開例2 ▶ 総合的な学習の時間(4年生)「 $\frac{1}{2}$ 成人式を間違う大人になるっていいね〜」

ねらい ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする

活動内容	指導上の配慮事項
● 20歳の自分と対話 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする	● 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする
● 20歳の自分と対話 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする	
● 20歳の自分と対話 20歳になるまで、今の自分と対話しながら生きていこう ● 成人式に参加する 20歳の自分を振り返り、将来について話し合う ● 10年間の自分の成長を振り返ることを通して、生命の尊さを感じるとともに、よりよく生きていこうとする気持ちや態度を持つようにする	

挑戦する やりぬく 夢・希望を広げる

苦手なことや初めて経験することに失敗を恐れず取り組み、そのことが 集団の中で役立ち喜びや自分への自信につながるようにする

自分課題や問題を見付け、自分たちで解決できる意識を持たせましょう

【例】 ● 席 ● 中道 ● 清掃 ● 給食当番
● 朝の会・帰りの会 ● 異年齢集団活動

異年齢集団の活動に進んで参加し、高学年としての役割と責任を果たそうとする態度を育てましょう

中学校での生活や将来の生き方を話し合うなどの活動を積極的に取り入れましょう

【例】 ● 縦割り行事 ● 学級活動計画の作成 ● 児童委員会 ● クラブ活動の運営 ● ボランティア活動



社会に生きる一員として何をすべきが考えられるような探究的な活動を取り入れましょう

地域社会にかかわる喜びやものづくりの楽しさを実感できるような体験活動を取り入れましょう



各教科での学習が生活や職業と関連することの理解を深め、互いに学び合い高め合える態度を育てましょう

【例】 ● 施設を訪み、自分の生きかについて考える（国語）
● 写真と国民生活との関連について理解する（社会）
● 専任の働き者を利用した道具が生活を支えていることを理解する（理科）
● 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付く（家庭）

自己肯定感を高くし、未来への夢や希望を持つことができる心を育てましょう

【学習指導要領上の関連深い学習項目の例】
1-2(16)、2-2(23)(4)(5)、3-1(1)、4-1(12)(3)(4)(6) など

【育てたい力の例】

- 思いやりの気持ちを持って共によりよく生きようとする
- 自己に対する肯定的な自覚を深め、未来への夢や希望を持つ
- 異年齢生活の中で自分の役割や責任を理解して行動し、全体の向上に役立つとする態度を持つ

日本と外国との言語や文化の比較を通して、多様なもの見方や考え方があることを実感できるように体験的なコミュニケーション活動を取り入れましょう

展開例1▶特別活動(5・6年生)「委員会活動」

【ねらい】 ● 委員会活動の大切さを知り、進んで取り組むことができるようにする

活動内容	指導上の配慮事項
● 委員会活動で身に付く力が何か考え、話し合う。	各委員会事務局にいる委員に担当や活動内容を発表させ、共通している部分から委員会活動の目的について気付かせる。
● 委員活動の役割や責任を理解し、自分の得意さを広げられるような委員会を立案し	① 全級児童がより楽しく学校生活を送り、自分たちのよきまねができるようにするため、委員活動があることに気付かせる。
● 委員会活動の進め方を調べる	自分たちが行っている委員会活動全体を把握し、各級児童が自分の生活に活かすために、どのような活動を行えばいいかを考え、進め方を調べる。
● 委員会活動カードを作成し、自分が行った活動を振り返る	委員会活動カードに各級員や得意さを記入させ、児童が委員活動を振り返り取り組むようにさせる。

児童会活動の意義を理解し、自分たちができることに責任をもって取り組むことで、自主性と社会性を育てる。

【道徳の時間】

4. 主として集団や社会とのかわりかわりに関すること
 (3) 身近な集団に参入して参加し、自分の役割を認識し、協力して主体的に責任を果たす。
 (6) 先生や学校の人への敬意を深め、みんなが協力し合い、よりよい風風をつくる。

【総合的な学習の時間】

地域で実施した学習
 ボランティア活動の取組
 様々な職業に関する学習

本活動と関連した学習

ポイント ● 委員会活動を通して、学校のリーダーとしての役割を担うとともに、手がこつや働くことの楽しさを実感させましょう

展開例2▶総合的な学習の時間(6年生)「マイグッドライフ」

【ねらい】 ● 将来の夢や希望を持ち、それらの実現を目指して努力することができるようにする

活動内容	指導上の配慮事項
● 高学年としての目標を立てる	自分のやりたいことと通って夢を話し、努力が出来るようになる目標を考えた後、①～④の内容と関連させる。
● 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる	①～④の内容と関連させる
● 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる	①～④の内容と関連させる
● 様々な職業について調べ、自分がやっていたい仕事を探し出す	自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる
● 中学校へ参観して、中学校での学習や生活、学校行事、部活動などについてまとめる	自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる
● 中学校へ参観して、中学校での学習や生活、学校行事、部活動などについてまとめる	自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる
● 中学校へ参観して、中学校での学習や生活、学校行事、部活動などについてまとめる	自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる 自分や周囲の人の生活スタイルを調べる

ポイント ● 今の自分が将来につながることを意識させながら活動に取り組ませましょう

事例に学ぼう ―小学校におけるキャリア教育の豊かな可能性―

キャリア教育の
実践例

掲載事例は、国立教育政策研究所生涯学習センター「キャリア教育実践活動事例集」第1分冊（平20年）から一部抜粋し、文章等を部分的に変更したものです。

神奈川県立宿川小学校

▶ キャリア教育の観点からの様々な教育活動の見直しと、地元商店街との連携による体系的な実践

1年生 学校ではたらく人、おしえてあげる
(生活科 10時間)

学校生活に慣れた9月、学校で働く人々に、そして、グループごとに分かったことを発表するための学習を計画した。用務員、事務職員、給食調理員、茶室士、養護教諭などに、どんな仕事をしているのか、インタビューした。するようになった。

2年生 わくわくドッキン かりやどランド
(生活科10時間 特別活動2時間)

子ども祭り「ファンタジーフェスティバル」(2年生・秋の学校行事)で、1年生と協力して、自分たちで遊びやルールを考え、お客さんが楽しめるような遊びのコーナーを

グループで分担して作った。当日は幼稚園、他学年、地域の人々等、様々な立場の人とかわわりを持つことができた。

3年生 地域の人とあしくしゅ I
―商店街でお手伝い―

(総合的な学習の時間 25時間)

町へ出かけ、店、工場、公共施設、交通などの町の様子や特徴について調べた中で、子どもが自分の住む地域のことにおもしろい目をつけていないという実感が見えてきた。そこで、地域の商店の協力を得て商店での体験学習を計画し、社会科の学習を踏まえて展開した。

商店での手伝い体験は、学校や家庭以外の人とのかわり方を学ぶ場としてとらえられ、商店の人やお客さんとの触れ合いを通して、自分の住む地域のことを理解し、地域の一員としての自覚を多くもつとともに、商店で働く



広島県庄原市立西城小学校

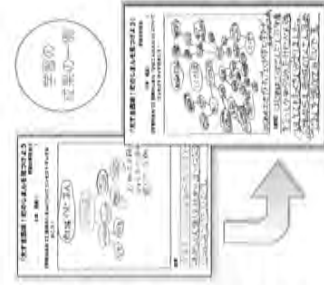
▶ 地域の食文化を生かしたキャリア教育の取組と、学習成果の把握の工夫

3年生 西城のじまんを見つけよう
―「ひばごん井」を作ろう―

(総合的な学習の時間 17時間)

1970年に地元に出発したとき、おちまを駆りかえしたおちま「ひばごん井」から命名された。地元の食材を使った創作料理「ひばごん井」、ゲストティーチャーを招いて「ひばごん井」を作ることを通じて、地域の食文化への理解と地域への愛着心を高め、仕事に対する理解を深める活動を展開した。

国語科・社会科等との関連を図りつつ、「西城の地域じまんマップを作る」「ひばごん井のひみつをさぐる」等に合計5時間を通して、「ひばごん井」づくりに2時間を充てた。これらの学習のまとめとして「学びをひろげよう」(6時間)により、パンフレットづくりを行った。



- 6年 感動日記 修学旅行
フォト展 著作リ
- 5年 田んぼ大好き!!
スローライフ in 西城
- 4年 「あわせ道」見学
ポラテニア活動
- 3年 西城地域探訪
西城のじまんとつなぐ
- 2年 野菜をつくろう
いっしょに食べよう
- 1年 いろいろなことに
チャレンジ

東京都三鷹市東第四小学校

▶ 社会教育施設を活用したキャリア教育の取組と、課題探究型プログラムへの発展

5年生 写真展から社会をのぞこう

(総合的な学習の時間 20時間)

地域の人々とのかわりを通して社会を身近に感じ、仕事をすることの意味や楽しさ、苦しみや困りなど実感の伴った理解につなげる単元。

三鷹市美術館ギャラリーにおいて開催される写真展を通して、美術館が企画する展覧会には多くの職業の方がかわり、様々な思いや苦しみ、準備を経て企画されていくことを知り、生き方を学ぶ活動である。はじめに、テーマを追究し写真展を企画する学芸員の方や、展覧会において写真展の開催を裏から支える様々な職業の方(制作会社、デザイン会社、印刷会社)とのかわり合いの場を設け、写真展やそれにかかわる職業に興味を持たせた。同時に、子どもたちが自らに校内で写真展を開く計画

- 6年 夢に向かって
- 5年 写真展から
社会をのぞこう
- 4年 くんくん育て、
ピーナツマン
- 3年 元氣なソニヤから
手紙を
- 2年 伝えたい、手紙で!
- 1年 お手伝い名人



新しい学習指導要領でのキャリア教育の推進

平成20年3月28日、新しい小学校学習指導要領が告示されました。小学校では、平成21年度からの移行措置を経て、平成23年度から完全実施されます。なお、総則や道徳、総合的な学習の時間、特別活動については、平成21年度から先行実施されます。新しい学習指導要領は、これまで以上に小学校におけるキャリア教育の推進が求められています。

学習指導要領新旧対照表（一部抜粋）

新 旧 対 照 表	平成10年12月14日改訂	平成20年3月28日改訂
第3章 道徳 第1 目標	道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところ、 「新」 小学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心構、特別活動、特別活動等と連関した活動などを通じて、道徳性、責任感、規範意識、社会性、国際性、持続可能性などを育て、 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間における道徳教育と連関した活動を図りながら、言語、算数、理科、美術、音楽、図画工作、保健体育、総合的な学習の時間を通じて、道徳的実践力を育成することとする。	第5章 総合的な学習の時間 第1 目標 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
第4章 特別活動 第1 目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を望み、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。	第6章 特別活動 第1 目標 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を望み、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

今下層部は新しく追加された記述



それぞれの教育活動の特性を生かしながら 系統的なキャリア教育を実践する



学習指導要領改訂までの主な流れ

改訂までの流れ	特に重要な条文・内容など	キーワード
平成17年12月 学習指導要領の 改正案(教育委員会 からの要請)	II 教育基本法 第5条(改正) 第21条(改正) 第22条(改正) 第23条(改正) 第24条(改正) 第25条(改正) 第26条(改正) 第27条(改正) 第28条(改正) 第29条(改正) 第30条(改正) 第31条(改正) 第32条(改正) 第33条(改正) 第34条(改正) 第35条(改正) 第36条(改正) 第37条(改正) 第38条(改正) 第39条(改正) 第40条(改正) 第41条(改正) 第42条(改正) 第43条(改正) 第44条(改正) 第45条(改正) 第46条(改正) 第47条(改正) 第48条(改正) 第49条(改正) 第50条(改正) 第51条(改正) 第52条(改正) 第53条(改正) 第54条(改正) 第55条(改正) 第56条(改正) 第57条(改正) 第58条(改正) 第59条(改正) 第60条(改正) 第61条(改正) 第62条(改正) 第63条(改正) 第64条(改正) 第65条(改正) 第66条(改正) 第67条(改正) 第68条(改正) 第69条(改正) 第70条(改正) 第71条(改正) 第72条(改正) 第73条(改正) 第74条(改正) 第75条(改正) 第76条(改正) 第77条(改正) 第78条(改正) 第79条(改正) 第80条(改正) 第81条(改正) 第82条(改正) 第83条(改正) 第84条(改正) 第85条(改正) 第86条(改正) 第87条(改正) 第88条(改正) 第89条(改正) 第90条(改正) 第91条(改正) 第92条(改正) 第93条(改正) 第94条(改正) 第95条(改正) 第96条(改正) 第97条(改正) 第98条(改正) 第99条(改正) 第100条(改正)	●自主・自律の 精神 ●職業・生活との 関連 ●社会の発展への 参画
平成18年12月 学習指導要領改訂 （修正）	第21条(改正) 第22条(改正) 第23条(改正) 第24条(改正) 第25条(改正) 第26条(改正) 第27条(改正) 第28条(改正) 第29条(改正) 第30条(改正) 第31条(改正) 第32条(改正) 第33条(改正) 第34条(改正) 第35条(改正) 第36条(改正) 第37条(改正) 第38条(改正) 第39条(改正) 第40条(改正) 第41条(改正) 第42条(改正) 第43条(改正) 第44条(改正) 第45条(改正) 第46条(改正) 第47条(改正) 第48条(改正) 第49条(改正) 第50条(改正) 第51条(改正) 第52条(改正) 第53条(改正) 第54条(改正) 第55条(改正) 第56条(改正) 第57条(改正) 第58条(改正) 第59条(改正) 第60条(改正) 第61条(改正) 第62条(改正) 第63条(改正) 第64条(改正) 第65条(改正) 第66条(改正) 第67条(改正) 第68条(改正) 第69条(改正) 第70条(改正) 第71条(改正) 第72条(改正) 第73条(改正) 第74条(改正) 第75条(改正) 第76条(改正) 第77条(改正) 第78条(改正) 第79条(改正) 第80条(改正) 第81条(改正) 第82条(改正) 第83条(改正) 第84条(改正) 第85条(改正) 第86条(改正) 第87条(改正) 第88条(改正) 第89条(改正) 第90条(改正) 第91条(改正) 第92条(改正) 第93条(改正) 第94条(改正) 第95条(改正) 第96条(改正) 第97条(改正) 第98条(改正) 第99条(改正) 第100条(改正)	●職業についての 知識と技能、動機 を重大する意図、 意識的意図
平成19年6月 学習指導要領改訂 （修正）	第21条(改正) 第22条(改正) 第23条(改正) 第24条(改正) 第25条(改正) 第26条(改正) 第27条(改正) 第28条(改正) 第29条(改正) 第30条(改正) 第31条(改正) 第32条(改正) 第33条(改正) 第34条(改正) 第35条(改正) 第36条(改正) 第37条(改正) 第38条(改正) 第39条(改正) 第40条(改正) 第41条(改正) 第42条(改正) 第43条(改正) 第44条(改正) 第45条(改正) 第46条(改正) 第47条(改正) 第48条(改正) 第49条(改正) 第50条(改正) 第51条(改正) 第52条(改正) 第53条(改正) 第54条(改正) 第55条(改正) 第56条(改正) 第57条(改正) 第58条(改正) 第59条(改正) 第60条(改正) 第61条(改正) 第62条(改正) 第63条(改正) 第64条(改正) 第65条(改正) 第66条(改正) 第67条(改正) 第68条(改正) 第69条(改正) 第70条(改正) 第71条(改正) 第72条(改正) 第73条(改正) 第74条(改正) 第75条(改正) 第76条(改正) 第77条(改正) 第78条(改正) 第79条(改正) 第80条(改正) 第81条(改正) 第82条(改正) 第83条(改正) 第84条(改正) 第85条(改正) 第86条(改正) 第87条(改正) 第88条(改正) 第89条(改正) 第90条(改正) 第91条(改正) 第92条(改正) 第93条(改正) 第94条(改正) 第95条(改正) 第96条(改正) 第97条(改正) 第98条(改正) 第99条(改正) 第100条(改正)	●職業についての 知識と技能、動機 を重大する意図、 意識的意図
平成19年11月 中央教育審議会 （審議のまとめ）	第21条(改正) 第22条(改正) 第23条(改正) 第24条(改正) 第25条(改正) 第26条(改正) 第27条(改正) 第28条(改正) 第29条(改正) 第30条(改正) 第31条(改正) 第32条(改正) 第33条(改正) 第34条(改正) 第35条(改正) 第36条(改正) 第37条(改正) 第38条(改正) 第39条(改正) 第40条(改正) 第41条(改正) 第42条(改正) 第43条(改正) 第44条(改正) 第45条(改正) 第46条(改正) 第47条(改正) 第48条(改正) 第49条(改正) 第50条(改正) 第51条(改正) 第52条(改正) 第53条(改正) 第54条(改正) 第55条(改正) 第56条(改正) 第57条(改正) 第58条(改正) 第59条(改正) 第60条(改正) 第61条(改正) 第62条(改正) 第63条(改正) 第64条(改正) 第65条(改正) 第66条(改正) 第67条(改正) 第68条(改正) 第69条(改正) 第70条(改正) 第71条(改正) 第72条(改正) 第73条(改正) 第74条(改正) 第75条(改正) 第76条(改正) 第77条(改正) 第78条(改正) 第79条(改正) 第80条(改正) 第81条(改正) 第82条(改正) 第83条(改正) 第84条(改正) 第85条(改正) 第86条(改正) 第87条(改正) 第88条(改正) 第89条(改正) 第90条(改正) 第91条(改正) 第92条(改正) 第93条(改正) 第94条(改正) 第95条(改正) 第96条(改正) 第97条(改正) 第98条(改正) 第99条(改正) 第100条(改正)	●職業についての 知識と技能、動機 を重大する意図、 意識的意図
平成20年1月 中央教育審議会 （答申）	第21条(改正) 第22条(改正) 第23条(改正) 第24条(改正) 第25条(改正) 第26条(改正) 第27条(改正) 第28条(改正) 第29条(改正) 第30条(改正) 第31条(改正) 第32条(改正) 第33条(改正) 第34条(改正) 第35条(改正) 第36条(改正) 第37条(改正) 第38条(改正) 第39条(改正) 第40条(改正) 第41条(改正) 第42条(改正) 第43条(改正) 第44条(改正) 第45条(改正) 第46条(改正) 第47条(改正) 第48条(改正) 第49条(改正) 第50条(改正) 第51条(改正) 第52条(改正) 第53条(改正) 第54条(改正) 第55条(改正) 第56条(改正) 第57条(改正) 第58条(改正) 第59条(改正) 第60条(改正) 第61条(改正) 第62条(改正) 第63条(改正) 第64条(改正) 第65条(改正) 第66条(改正) 第67条(改正) 第68条(改正) 第69条(改正) 第70条(改正) 第71条(改正) 第72条(改正) 第73条(改正) 第74条(改正) 第75条(改正) 第76条(改正) 第77条(改正) 第78条(改正) 第79条(改正) 第80条(改正) 第81条(改正) 第82条(改正) 第83条(改正) 第84条(改正) 第85条(改正) 第86条(改正) 第87条(改正) 第88条(改正) 第89条(改正) 第90条(改正) 第91条(改正) 第92条(改正) 第93条(改正) 第94条(改正) 第95条(改正) 第96条(改正) 第97条(改正) 第98条(改正) 第99条(改正) 第100条(改正)	●職業についての 知識と技能、動機 を重大する意図、 意識的意図
改訂	第21条(改正) 第22条(改正) 第23条(改正) 第24条(改正) 第25条(改正) 第26条(改正) 第27条(改正) 第28条(改正) 第29条(改正) 第30条(改正) 第31条(改正) 第32条(改正) 第33条(改正) 第34条(改正) 第35条(改正) 第36条(改正) 第37条(改正) 第38条(改正) 第39条(改正) 第40条(改正) 第41条(改正) 第42条(改正) 第43条(改正) 第44条(改正) 第45条(改正) 第46条(改正) 第47条(改正) 第48条(改正) 第49条(改正) 第50条(改正) 第51条(改正) 第52条(改正) 第53条(改正) 第54条(改正) 第55条(改正) 第56条(改正) 第57条(改正) 第58条(改正) 第59条(改正) 第60条(改正) 第61条(改正) 第62条(改正) 第63条(改正) 第64条(改正) 第65条(改正) 第66条(改正) 第67条(改正) 第68条(改正) 第69条(改正) 第70条(改正) 第71条(改正) 第72条(改正) 第73条(改正) 第74条(改正) 第75条(改正) 第76条(改正) 第77条(改正) 第78条(改正) 第79条(改正) 第80条(改正) 第81条(改正) 第82条(改正) 第83条(改正) 第84条(改正) 第85条(改正) 第86条(改正) 第87条(改正) 第88条(改正) 第89条(改正) 第90条(改正) 第91条(改正) 第92条(改正) 第93条(改正) 第94条(改正) 第95条(改正) 第96条(改正) 第97条(改正) 第98条(改正) 第99条(改正) 第100条(改正)	●職業についての 知識と技能、動機 を重大する意図、 意識的意図

POINT 今後10年間の教育改革の方向性とキャリア教育

平成20年7月1日、「新学習指導要領」が閣議決定されました。この計画は、新学習指導要領に示された教育の理念の実現に向けて、今後10年間の教育改革の方向性を明らかにするものであり、今後5年間で平成20～24年度に取組むべき施策を総合的・計画的に推進するために、政府として初めて策定したものです。この計画でも、キャリア教育の推進が強く求められています。

子どもたちの勤労観や社会性を養い、将来の職業や生活方についての信念を育むよう、経済団体、PTA、NPOなどの協力を得て、関係者の連携により、小学校段階からのキャリア教育を推進する。特に、中学校を重点として職場体験活動や、普通科高等学校におけるキャリア教育を推進する。

小学校におけるキャリア教育をめぐる9つの疑問にお答えします



なぜ小学校からキャリア教育が必要なのですか？

小 学校段階は、社会人として必要になる自立性や社会性を育て、一人一人の子どもたちがそれぞれの進路を探索・選択する力を培う上で、重要な基盤を形成する大切な時期だからです。

ただし、小学校におけるキャリア教育は、具体的な将来設計を立てることを目指すものではありません。学級・学年・学期・地域社会等における様々な活動を通して、将来設計の基盤となる「夢や希望」をほぐし、目標の達成を目指して工夫し努力することの大切さを体得させ、自信や有用感を高める機会を計画的に設けていくことが大切です。子どもたちが将来に不安を感じたり、学校での学習に自分の将来との関係で意欲が見いだせず、学習意欲が低下し、学習習慣が確立しないといった状態が指摘される今日、キャリア教育の必要性はますます高まっています。

また、特に小学校では、豊かなキャリア教育の実践によって、愛着や友達、身近な地域の人々への関心や信頼感を高め、多角的な視野から他者を理解するための基盤となる力を養い、人々が自らの責任を果たすにつれ相互に支え合っていくような集団や社会を築いていく事業に導かせる必要があります。また、子どもたちが一人一人がそのような集団としての学校や家庭、ひいては社会の重要な一員であることを、実感を持って理解できるようにすることが大切です。

文部科学省による「平成20年度全国学力・学習状況調査」が示す次の結果も、小学校におけるキャリア教育の重要な

実の必要性を示していると考えられます。



【将来の夢を持っていますか】という設問に対し小学生の約68%が「当てはまる」と回答したのに対し、中学生では約43%と25ポイントも減少しています。この結果からは、心身の成熟にしたがって、強い関心を持ち夢が空想的であったことに気付くものの、それに代わる目標を見いだせずにいる中学生の姿が浮かび上がってくるようです。

小学校では、現実社会で活躍する多様な職種がある大人に接する機会を設けたり、様々な職業の存在を気付かせたりしながら、広い視野から社会や職業をとらえる力を養いたいものです。空想的な夢に代わって、自らの将来につながる希望や目標を築くための力は、小学校からの継続的なキャリア教育によってはぐくまれていくべきではないでしょうか。



キャリア教育は新しい教育活動ではない、と言われますが、これは「これまでどおりの教育でよい」ということですか？

文 そうですね。文部科学省による「小学校・中学校・高等学校キャリア教育推進の手引」(平成18年)には、「キャリア教育は、必ずしも新しい教育内容を導入しようとするのではない」と記されていますが、それ以降、次のように指摘されていることを見逃してはならないと思います。

【キャリア教育は】教育活動の領域・単元の1つではなく、教育活動全体に働きかけたいという考えが大切である。小学校では、既存の教育活動のなかにキャリア教育の視点で関連する内容が数多くある。それらをキャリア教育の視点でとらえ直すことで、それぞれの活動の関連が明確になる。学習責任がすべて教員に集中しやすいため、小学校の教員は、キャリア教育の視点を意識して取り組むことが大切である。



小学校でのキャリア・カウンセリングはどのような形で行いますか？

キ ヤリア・カウンセリングという言葉から、中学3年生、高校3年生に行われる卒業後の進路決定の相談を思い浮かべると、小学校ではほとんど実践する必要はないでしょう。実践に入る前に、キャリア・カウンセリングを正確に理解しておくことが大切です。

学校におけるキャリア・カウンセリングは、発達過程にある一人一人の子どもの個性や特徴を生かして、学習生活における様々な困難を前向きに受け止めて、日々の生活で生じる課題や問題を積極的・建設的に解決していくことを通じて、問題対応の力や態度を鍛えさせ、自立的に生きていくことができることを目指しています。これはキャリア教育の目標と一致します。また、キャリア・カウンセリングは「対話」として、子どもと教師、生徒との直接的なコミュニケーションを手段とするのが特徴です。

小学校でのキャリア・カウンセリングの実践は広量と狭量の高面から考える必要があります。

小学校では、各教科や道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動において、子どもたちのキャリア発達を促す内容が多くあります。それぞれの機会を計画的に活用していきたいでしょう。また、それぞれの教育活動の中に組み込まれたキャリア教育の取り組み(「断片」を振り返り、結び、つなげる)が、子どもたちの認識や理解を広げていく働きかけを、道徳の時間や学級活動、総合的な学習の時間などにおいていくことが大切です。

もちろん、学校や地域の特性、子どもたちの実情に応じて、新しい教育内容や活動を加え、キャリア教育をより豊かにする工夫もまた大切であることは言うまでもありません。けれども、まずは既存の教育活動をとらえ直し、その力を十分に生かすことが必要でしょう。



広量の実践とは、小学校がこれからは長く学校生活の基盤として、学校や教師への信頼、そして学ぶことへの喜びを体験する大切な時間であるという認識に立ち、教師がそれぞれの子どもたちの存在を尊重して温かい人間関係を築くことを意味します。子どもたちとの温かい教育的な人間関係を築くためには、教師は一人一人の子どものコミュニケーションを図る能力を向上させることが不可欠となります。

狭量の実践とは、子どもたちが新たな課題に移行したり未習熟の学習課題に取り組み始めるには不安も大きく困難を引き起こしやすいため意識し、思い不安の解消や困難解決だけでなく、新たな課題や課題に意欲を持って取り組めることを目指すこととした実践の支援のことです。キャリア発達支援そのものと言えましょう。例えば、小学1年生は初めての学校生活に不慣れなために運動や授業を経験する時期ですし、どの学年でも学年始め・学期始めや年末・学期末には新学期や新年年への適応で困難を経験する時期です。特に6年生は中学校進学という大きなステップを乗り越える準備のときでもありますので、中学校へ順応を持って進めることを目標とした個別支援は不可欠です。



キャリア教育の「キャリア」とは何ですか？

キ ヤリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議は、「キャリア」を「個人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連続的かつその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの期間」と定義しました(平成16年)。ここでは、特に重要な「個人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連続」に注目して説明します。

このパンフレットをお読みの方にも、「教育」として学校に勤務されると同様に、例えば、お子さんに就いては「父親あるいは母親」であり、「妻または父」としての顔も持ち、ご両親から育った「娘あるいは息子」としての顔も持ち、同僚の役員やボランティアサークルの役員、いろいろな活動に携わっている。こういった様々な立場や役割は、それぞれ相互に密接に関連し合っている。また、生涯の中で多岐に交差しつ

連続とながらっていきます。これらはその一側として「キャリア教育」の推進に必要となる一人一人の動向、職業観を育てるために「キャリア」といいます。

子どもたちも、家庭において「息子や娘」であると同時に、地域のスポーツチームの一員などの立場や役割を持つ子もいるでしょう。また学校でも、「小学校3年生」であることと並んで、「飼育係」や「図書係」としての役割もあつていよう。時には「給食当番」としての役割も果しているかも知れません。現在、期待されるのは、それぞれの立場や役割にどのような役割を担っているのか、それらを踏まえて将来の役割に親や中学生になつてほしいこと、すべきこと等、これらの上に寄り添うようしてほしいのが、その時々、それぞれの立場や役割の重要性を自ら判断でき、また、それらに積極的に取り組むことができるよう、一人一人の成長・発達を支援することは、キャリア教育の重要な課題の一つです。



よく「キャリア教育の視点で」といいますが、この「視点」とは何が教えてくださいますか？

子 子どもたちが、将来、社会的自立・職業的自立を図るためには、小学校、中学校、高等学校において、一人一人が発達課題を段階を越えて達成していくことが重要です。キャリア教育の「視点」とは、将来の社会的自立・職業的自立を念頭に置きながら、子どもたちの成長

や発達を促進する見方を持つこと、小学校の各学年に備える様々な教育活動を通して、どのような資質や能力、態度を育てていけばよいのかを検討し、キャリア教育としての幅広い教育的・計画的設定していくことが大切になります。

小学校におけるキャリア教育をめぐる 9つの疑問にお答えします



職場見学などの体験活動をするのがキャリア教育ですか？

いいえ、そうではありません。

体験活動はキャリア教育を推進する取組の一つとして位置づけられます。キャリア教育は、教育活動全体を通じて、将来子どもたちが社会の一員としての責任を担い、社会的な自己実現を図ろうとする意欲や態度を継続的に育てていくものです。

体験活動には、達成感や満足感を得ることによる自信や

自己有用感の獲得、働くことや学ぶことへの意欲の向上など様々な効果が期待できます。

その効果を発揮させるためには、体験活動を「目的のもの」に留めず、振り返りや振り返りを通して、他の教育活動と関連付けたり、事前事後の指導を工夫したりすることが重要です。



キャリア教育のねらいは4つの能力（人間関係形成能力、情報活用能力、将来認識能力、意思決定能力）を伸ばすことでしょうか？

これら4つの能力は、概的に、社会的自立を促す

上で必要な能力であると考えられ、生涯の段階を辿って育成されるものです。これらは、キャリア教育を通して身に付けさせる様々な能力の重要な例としてとらえることができます。

各学校では、これら4つの能力を参考にしながら、学校や地域の特性、子どもたちの実情に応じて、身に付けさせる能力を重視することが大切です。検討の結果について学校全体で共通理解を図ることにより、効果的にキャリア教育を進めることができるとは思います。



キャリア教育の評価はどうすればよいですか？

二通り考えられます。

一つは、学習や能力、態度を意識しながら「子ども」の姿や「成長」を評価すること、そして、それに基づいて「活動そのもの」を評価することです。

前者については、まず教師が一人一人の子どもをしっかりと見取っていくことが大切です。ポートフォリオやアンケート、評価カード等を工夫しながら、一人一人のよきやまを

を把握し、その結果はできるだけ子どもにも通じていきたいものです。また、自己評価によって子ども自身も自分の成長を実感できることも大切です。

後者については、このような子どもたちの成長を促した要因は何か、あるいは、成長に結びつかなかった理由は何かに焦点を当てながら実践を振り返り、キャリア教育の取組をPDCAサイクルの中で改善していくことが必要です。



私が勤務する学校ではまだキャリア教育に取り組み始めていません。

キャリア教育はどのように始めたらよいですか？

まずは、一人一人の先生方がキャリア教育を正しく

理解することから始めましょう。そのために、このパンフレットを職員会議や学年会などで是非活用してください。そして、学校全体でキャリア教育に対する共通理解を築き、それに基づき、担当学年や各教科等において、どのようなキャリア教育に取り組めるかを検討し、でき

ることから実践に移してください。

キャリア教育は、目指していることからスタートさせる必要はありません。各学校での教育活動をキャリア教育の視点で見直し、積極的に取り組んでいきましょう。国立教育政策研究所・生涯学習研究センターのホームページに掲載の実践事例なども是非参考にしてください。

【作成協力委員】

- 職名は平成21年3月1日現在
- 小山浩治 神奈川県川崎市立羽根小学校教諭
- 川崎友樹 関西大学社会学部教員
- 佐々木健朗 千葉県千葉市立東郷本郷中学校教諭
- 塚田直 茨城県成田町立平小学校教諭
- 富本伸明 東京都品川区立小中一貫校伊藤学園教諭

- 西田健太郎 兵庫県教育委員会事務局課長主事
- 二見明子 神奈川県大和市教育委員会教育研究家所長主事
- 沼内口圭典小 富山県水見町立宇津野小学校教諭
- 和田るみ子 成瀬県政高市立平田小学校教諭
- 渡辺三枝子 筑波大学特任教授（キャリア支援室長）
(前職：公立高)



文部科学省
国立教育政策研究所
National Institute for Educational Policy Research

〒 編集：発行・生涯学習研究センター
TEL 03-6733-6882 FAX 03-6733-6967
URL http://www.nier.go.jp/O4_kenkou_anna/div09_shido.html